

## 精神障害者

- ・対人関係がとても苦手です。
- ・障害の部分はその人の一部分です。
- ・健康の部分もたくさんあります。
- ・得意や上手とするところをのばし

地域で生活できるよう、

ご理解とご支援をお願いします。

精神保健福祉 焼津心愛会

私たちは お互いの苦勞を思い

励ましあい、

障害者が明るく生きていける

社会を願って、

いろんな活動をしてまいります。

あなたのご理解がとても力になります。

視覚障害 聴覚障害 車椅子 ペースメーカー  
肢体不自由者 人工透析者  
などの仲間です

焼津市身体障害者福祉協会

事務局 054-623-3837 佐藤悠二宅

## 焼津市重症心身障害児（者）を守る会

「最も弱いものをひとりももれなく守る」を基本理念に、昭和 39 年、「全国重症心身障害児（者）を守る会」が発足し、昭和 40 年、焼津支部が活動を始めました。それから 50 年以上、どんなに重い障害があっても、人間として尊重され、医療や教育、福祉が地域で受けられるように活動を続けています。

重症心身障害とは、肢体不自由、知的障害など、様々な重複する障害を持ち、移動、食事、排泄など、ほとんどすべてにおいて、介助が必要です。また、医療的ケア（吸引、胃ろう、導尿など）を必要とする人も多くいます。

重い障害をもって、日常生活を送ることはとても大変ですが、それでも、当たり前のように幸せに暮らしていける社会になってほしいと願い、活動しています。

「母の声」から

ダウン症の息子は言葉が不明瞭で自分の気持ちを言葉で伝える事は苦手ですが、意思を通すがんこな所も。でも普段はニコニコ愛想のよい人柄ですよ。簡単な事は一人でできます。感情表現が下手なので、人見知りで集団行動を好まず無理すると体調を崩しますが、時間をかけて仲良くなればみんなと一緒に楽しめます。そんな姿がうれしいです。



焼津市手をつなぐ育成会  
37年9月設立 会員家族128軒  
市内の知的障害児者とその家族で活動。